

10月23日(金)の北海道新聞の記事を抜粋したものです。

17日(土)の新聞記事では、小樽で発生した昼カラクラスターを分析した結果、感染者の8割がマスクを着用していなかったということが分かりました。
マスクは感染防止に役立っています。



これからの季節、寒くて窓や扉を閉めがちですが、換気も大切なコロナ対策のひとつ。

1時間の授業中、1回以上は換気をするように、教科担任の先生方をお願いしています。

暖房が入っていても、室温はどうしても下がってしまいます。換気タイムも想定して、暖かい服装をしてきてください。(そろそろ女子はタイトシーズンです。)

感染対策やはりマスク

コロナウイルスの拡散スパコンで予測

理研など研究

新型コロナウイルス感染対策として利用する人が増えているフェースシールド。相手の飛沫が顔にかかるのを防げるが、着用者の飛沫はほとんど漏れるためマスクの代わりにはならないことが、理化学研究所などのチームの研究で明らかになった。また、不織布マスクは着用者から出る飛沫を減らすだけでなく、相手の飛沫を吸い込む量を3分の1ほどに減らすことも分かり、有効性の高さが改めて示された形だ。
(編集委員 塚崎英輝)

最後に…

今や、誰がどこでどのタイミングで感染しても不思議ではありません。^{しちゅうかんせん}「市中感染」と言われているものです)感染者やその家族に対して差別や偏見を持つことはやめましょう。また、無責任に噂話をSNS等に載せるのもやめましょう。

もしも、発熱がずっと続いたり、いつもと体調が明らかに違うときは、まずは、かかりつけの病院にTELをして相談してください。

コロナウイルス感染症が疑われる場合は、**北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター**
0800-222-0018 (フリーコール)へ
感染症の予防方法や、症状、治療に関する疑問や不安は、お住まいの**各保健所 (小樽市: 0134-22-3110) (倶知安: 0136-23-1957 / 0136-23-1951)**へご相談ください。

保健室からのお知らせ

スクールカウンセラーの楠(くすのき)さんの来校日は、26日(水)13:30~です。希望者は、保健室か担任の先生まで申し出てください。

